

# 統計調査ニュース

令和6年（2024年）2月

No.447



## 統計の危機管理

独立行政法人統計センター理事長

佐伯 修司

令和6年能登半島地震が発生して1か月余りが経過しました。この地震による被害の全貌はいまだ確認できていませんが、2月1日現在この地震で亡くなった方は関連死も含め240名を数え、安否確認できない方も残っています。また、不便な生活を続けられている方が多数いらっしゃいます。改めて、亡くなった方にお悔やみ申し上げるとともに、被災された方に心からのお見舞いを申し上げます。

この機会に、統計の危機管理について私自身の経験も踏まえて書いてみたいと思います。統計の危機をどのようなものと考えるかですが、ここでは、「ユーザーが求める統計を作成・提供できない事態をもたらす可能性のある事象の発生」として話を進めます。

統計行政は、「統計の危機」が発生しても、その影響を最小限に抑え、役に立つ統計を作成・提供するため様々な努力（危機管理）を続けてきました。例えば、令和2年（2020年）以降、全国で流行した新型コロナウイルス感染症の

よって調査を継続する努力を続けました。「調査員や調査対象の皆さんに万が一のことがあってはならない。しかし、閣議に毎月報告している経常三調査や我が国の最も基本的な統計である国勢調査に空白をつくるのは最後の最後だ。」という思いで、感染防止に最大限配慮した形で調査を行い、調査期日を変更することなく結果を公表することができました。調査員、地方公共団体の担当者の皆さんには、大きな不安を感じつつも使命感をもって調査に取り組んでいただき、感謝の念に堪えません。

もちろん、大規模地震などにより被災の著しい地域では、被災者の生命・安全・生活の確保を最優先することが当然であって、統計調査の業務は一時的に停止又は縮小せざるを得ない状況となりうるため、調査票の提出等に関して弾力的な措置が取られてきています（詳しくは、月刊統計2023年2月号の私の文章を参照ください。）。

今回の大地震の被災地の皆さんの生活が一日も早く落ち着いて、統計調査への協力を笑顔でお願いできる日が来ることを願ってやみません。

### 目次

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 統計の危機管理               | 1 |
| 統計リテラシー向上のために         |   |
| ー統計データ分析コンペティションー     | 2 |
| 令和6年全国家計構造調査の概要       | 3 |
| 令和5年度登録調査員中央研修を開催しました | 4 |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| お笑い芸人の「なすなかにし」さんが総務省統計局に御来訪!! | 5 |
| 「統計の日（10月18日）」の標語募集!          | 6 |
| とうけい通信 ㊼                      |   |
| 旭川の魅力はやっぱり「ご当地グルメ」!?／北海道旭川市   | 7 |

# 統計リテラシー向上のために —統計データ分析コンペティション—

## 統計データ分析コンペティションとは

高校生、大学生等の統計の有用性への理解と統計データ活用拡大のため、総務省、独立行政法人統計センター、大学共同利用機構法人情報・システム研究機構統計数理研究所及び一般財団法人日本統計協会の共催により、2018年度から実施しています。審査の結果選ばれた論文には、総務大臣賞、優秀賞、統計数理賞、統計活用奨励賞、審査員奨励賞が授与されるとともに学校表彰が行われます。

2023年度の「統計データ分析コンペティション」は、高校生の部に79件、大学生・一般の部に72件の応募があり、極めて高いレベルで分析と政策提言が競われました。

## 【統計データ分析コンペティション】

<https://www.nstac.go.jp/use/literacy/statcompe/>

2018年度にこのコンペティションが開始されたときは、応募は高校生の部が7件、大学生・一般の部が20件であったことを鑑みると、このコンペティションが我が国の統計教育の中において確固たる地位を占めつつあることを物語っていると言ってよいでしょう。

このコンペティションの誕生は、そもそも、独立行政法人統計センターが提供しているSSDSE（教育用標準データセット）の創生と深く関係しています。

## 【SSDSE（教育用標準データセット）】

<https://www.nstac.go.jp/use/literacy/ssdse/>

| 名称         | 最新版ファイル名     | 内容                       |
|------------|--------------|--------------------------|
| SSDSE-市区町村 | SSDSE-A-2023 | 1741市区町村×多分野125項目        |
| SSDSE-県別推移 | SSDSE-B-2023 | 47都道府県×12年次×多分野109項目     |
| SSDSE-家計消費 | SSDSE-C-2023 | 全国・47都道府県庁所在地市×家計消費226項目 |
| SSDSE-社会生活 | SSDSE-D      | 全国・47都道府県×男女別×社会生活121項目  |
| SSDSE-基本素材 | SSDSE-E-2023 | 全国・47都道府県×多分野90項目        |
| SSDSE-気候値  | SSDSE-F      | 47都道府県庁所在地市×年×気象42項目     |

当時、学習指導要領が改訂され、初等中等教育から統計教育が導入されることとされていましたが、教育現場では統計教育に用いることができるデータ素材が不十分であることが、大きな問題となっていました。身長や体重、年齢といった身近なデータ素材はあるのですが、分析してその結果が意味を持つものとなるようなものがなかなか見当たらないのが実情でした。教育の中でデータ分析がリアルで有用な結果を導くことを、子供たちに示すことが難しかったのです。

そうした状況を改善すべく、2018年度に、都道府県や市町村のリアルデータでありながら、欠測値のない扱いやすい教育用のデータ分析素材としてSSDSE（教育用標準データセット）の提供が開始されました。当時、著者も大阪府の数学関係の教職員研修で説明させていただき、多くの驚きと感謝の声をいただいたことを懐かしく思い出します。

また、SSDSEを広く学校現場で知っていただき、併せて喫緊の課題となってきた我が国の若手統計人材の育成に資するため、SSDSEを用いた「統計データ分析コンペティション」が創設される運びとなりました。さらに、教育現場からは素材の提供にとどまら

ず、その使い方についても教えてほしいという要望があり、翌年には月刊誌「統計」で山下雅代氏（現東京学芸大学准教授）のSSDSEを用いた初等中等教育向けの統計教育に関する連載が開始されました。

「統計データ分析コンペティション」は、このように時代の要請に応える中で誕生したものです。



統計データ分析コンペティション 受賞者表彰

21世紀はインターネットの普及とICTの進化により、膨大なデータが安価で手に入るようになりました。そのデータを用いた様々なビジネスが勃興し、データは21世紀の石油であるとも言われます。膨大なデータから価値を抽出しイノベーションを起こすには、その基礎となるスキルを有する人材の育成が必要でです。いわゆるデータサイエンティストは、少なくとも三つのスキルを兼ね備えていることが必要とされています。それは数理・統計スキルであり、データ処理・プログラミングのスキルであり、課題解決をマネジメントするスキルです。

コンペティションに参加する高校生、大学生のデータ分析の技術水準は、この6年間で大きく上昇してきました。しかしながら、それだけでは十分とは言えません。課題の設定から、仮説の立案、データの選定、分析、検証、そしてその結果を課題解決に結びつける能力が求められています。

特に、これから社会に羽ばたいていく大学生には、データ分析の結果を課題の解決へと結びつける能力を見せてほしいと思います。社会で求められる役割は、「分析して終わり」ではないのです。

最新のSSDSEには、47都道府県庁所在地市ごとの気象データが追加されました。時代は文系・理系の分けを曖昧なものとしています。統計は正に文理融合の分野であり、2024年度のコンペティションでは、社会科学系のデータと気象データやそれ以外の自然科学系のデータも融合した分析が現れることを期待しています。（総務省統計局統計高度利用特別研究官 井上）

# 令和6年全国家計構造調査の概要

本年10月から11月にかけて、令和6年全国家計構造調査を実施します。  
本号では、調査の概要を紹介します。

## 調査の目的

「全国家計構造調査」は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的として実施するものです。

この調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づく「基幹統計調査」で、国が実施する統計調査のうち特に重要な調査です。1959年以来5年ごとに実施しており、令和6年調査は14回目に当たります。

## 調査の概要

- 調査期間：令和6年10月及び11月の2か月間
- 調査対象：無作為に選定した全国約90,000世帯
- 調査事項：

### 【世帯及び世帯員に関する事項】

世帯構成、世帯員の就業・教育状況、現住居の状況、現住居以外の住宅・宅地の保有状況など

### 【家計収支に関する事項】

自動引落としによる支払、口座等への入金（給与・年金等）、日々の収入と支出 など

### 【所得及び家計資産・負債に関する事項】

年間収入、預貯金などの金融資産、借入金、企業年金掛金・固定資産税 など

- 調査方法：

### 【調査の流れ】 総務省－都道府県－市町村－指導員－調査員－報告者（世帯）

※ 一部、市町村を経由しない流れもあります。

### 【調査の方法】 調査員が調査世帯ごとに調査書類を配布し、世帯が①インターネットで回答する方法（オンライン回答）、②調査員に調査票を提出する方法（一部、郵送により調査票を提出する方法あり）のいずれかを選択

## 結果の利用

- 年金や介護等の社会保障制度や税制の在り方を検討するための基礎資料
- 生活扶助基準の見直しを行うための基礎資料
- 貧困等生活上の困難に対する支援に関する検討を行うための基礎資料
- 各種白書における家計の消費、所得、資産に関する分析 など

## 今回調査のポイント

- 大幅に見直した前回（令和元年）調査を継承しつつ、調査内容をよりの確に表すための調査項目名の変更
- オンライン調査の全面導入やレシート情報の自動読み取り機能の精度向上など、引き続き、オンライン回答の促進 など

# 令和5年度登録調査員中央研修を開催しました

総務省政策統括官（統計制度担当）室では、統計調査員に選任されることを希望する者をあらかじめ登録（以下「登録調査員」という。）し、統計調査員の円滑な人材確保に資するとともに、研修等により、その資質の向上を図る人材育成を目的とした「統計調査員確保対策事業」を実施しています。

「登録調査員中央研修」は、この統計調査員確保対策事業の一環として実施しているもので、各地域において中核的・指導的な役割を担う登録調査員の資質の向上及び地域の枠を越えた相互交流を目的としています。

今回は、令和5年12月14日（木）に、全国から登録調査員57名、都道府県及び市町の職員12名、計69名の参加を得て、集合型（総務省第2庁舎）及びオンライン型（Webex）による同時開催を行いました。

## 1 挨拶

研修の開催に当たり、北原政策統括官から国の各種統計調査実施の最前線を担ってこられた参加者に対し、お一人おひとりの努力の積み重ねによって集めていただいた調査票が貴重なデータとなり、政策判断の基になっていることなど、これまでの御尽力に対する感謝の思いを伝えました。

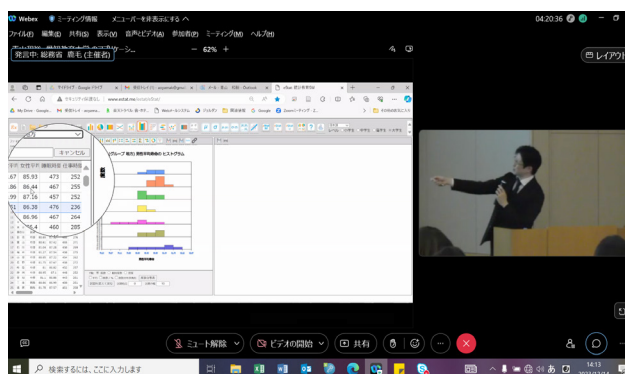


## 2 講義「社会における統計の活用事例について」

愛知教育大学准教授 青山和裕氏に講義をしていただきました。普段、教育大学の学生に対して、小中高等学校の生徒にいかん統計をうまく教えるかを指導されていたり、教員研修で教員に対し、統計のニーズが高まっている昨今においてどのように対応していくべきかを指導・研究されている教育研究者という立場から、統計が現在どのような場面でどのように活用されているのか、信頼できる統計がいかに社会の中で重要なことであるかについて、スポーツのデータ等身近な事例を交えて講義をしていただきました。

参加者からは「青山准教授の統計の利活用例は事例も多くて今後の活動だけでなく、自己成長のためにも役立ちました。」「以前から若い人の調査への協力がないことに心配しており、子供の頃からの学校教育が大切と言

い続けてきました。今回この講義を聴きうれしくなりました。」といった御感想をいただきました。



講義の様子（Webex画面）

## 3 班別討議

班別討議は、「調査活動において成功した事例、成功するに至った工夫」「調査活動において困った事例、困難だった事例」をテーマに、都道府県を越えた相互交流を図るため、10班に分かれて行いました。今年度は、Webexのブレイクアウトセッション機能を活用し、Webで御参加の皆様にもWeb上で班別討議を行っていただきました。

参加者からは、「色々な県の方々、ベテランの調査員さん達がたくさんいて大変参考になりました。」「今までと違う気づきがあり、とても参考になったので実践していきたい」「情報交換によって皆がプラスのものを持ち帰ることができるため、改めて情報交換の大切さを実感した」「調査員さんたちがどのように普段調査について感じられているかを身近に聞くことができ、自治体職員がどのように向き合っていくべきかを改めて考えさせられた」といった御感想をいただきました。



班別討議の様子（東京会場）

#### 4 班別討議結果発表

班別討議の結果について発表していただきました。調査が困難な世帯の方への対応や調査で困った事例等が発表されました。また、質疑応答も活発に行われ、発表いただいた内容や雰囲気などから、班別討議で十分に交流を図ることができたと推察できました。



発表の様子（Webex画面）

今回の研修が参加者の皆様にとって、今後の統計調査員活動や、統計調査員支援・指導のための一助となれば幸いです。

また、今回いただいたアンケートなどを基に来年度もより良い研修を開催いたしますので、機会がございましたら、是非御参加ください。

## お笑い芸人の「なすなかにし」さんが総務省統計局に御来訪!!

総務省統計局における政府統計の総合窓口（e-Stat）の広報事業の一環で制作された、統計情報クイズ番組「統計から日本を紐解こう！なにナゾ JAPAN」が、令和5年9月2日（土）にBSフジで全国放送されました。

この番組は、政府統計の総合窓口（e-Stat）に掲載されている統計データをもとに、日本のナゾを紐解いていこうという番組で、学生6人が統計を研究し、作成したクイズを「なすなかにし」さんらが答えるという内容になっています。

この度、番組を通じて、広く国民に統計の重要性及び理解を促進することに多大な貢献をいただいた功績を称え、総務省統計局長より、番組出演者を代表して



▲「なすなかにし」さんと統計局幹部職員の記念撮影

お笑い芸人の「なすなかにし」さんに感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈後、「なすなかにし」さんに、実際に番組で取り扱われた統計調査を作成・公表している部署や政府統計の総合窓口（e-Stat）の管理を担当する部署等を訪問いただき、担当職員に対して、番組収録時の感想や激励のお言葉をいただきました。



▲「なすなかにし」さんと担当部署職員の記念撮影

放送された番組については、現在、YouTubeの総務省統計局チャンネルにてアーカイブ配信していますので、是非御覧ください！

 **総務省統計局 YouTube**



<https://www.youtube.com/watch?v=vmWYf-nc2uM>

# 「統計の日(10月18日)」の標語募集!

募集期間：令和6年2月1日(木)～3月31日(日)

## 1. 趣旨

総務省では、統計の重要性に対する国民の関心と理解を深め、統計調査に対する国民のより一層の協力を頂けるようにと定めた「統計の日(10月18日)」を中心として統計知識の普及のための周知広報を行っております。その一環として、毎年「統計の日」のポスターを始めとする広報媒体に活用すべく標語を募集しています。

総務省では、この「統計の日」の趣旨を踏まえた標語について、皆様からのご応募をお待ちしております。

なお、入選作品は、「統計の日」のポスターのほか、調査環境を整備するための各種広報に活用することとしております。

## 2. 募集部門

- 小学生の部………小学校の児童
- 中学生の部………中学校の生徒
- 高校生の部………高等学校の生徒
- 一般の部………上記以外の学生及び一般の方
- 統計調査員の部…統計調査員又は登録調査員の方
- 公務員の部………各府省、都道府県、市区町村の職員

## 3. 応募について

- 専用の応募用紙にて、1人5作品まで応募できます。
- 応募用紙以外で応募される場合は、次の記載事項を明記の上、応募してください。
  - ①部門、②お住まいの都道府県名、
  - ③氏名(ふりがな)、④所属・学校名(学年)、
  - ⑤電話番号、⑥標語(1人5作品まで)
- ※一般の部：④は、記入不要です。
- ※統計調査員の部：④は、「〇〇市統計調査員」等と記入してください。
- ※②～⑤の情報は、応募作品内容の確認や入選時等の連絡・確認のために利用します。
- 応募作品は、自作で未発表のものに限ります。

## 4. 提出方法

- 小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部は、総務省政策統括官室まで、メール又は郵送にて提出してください。
- 統計調査員の部は、所属する都道府県又は市区町村の統計主管課へ提出してください。
- 公務員の部のうち、各府省の職員は、職場の取りまとめ部署へ提出してください。
- 公務員の部のうち、都道府県及び市区町村の職員は、所属する都道府県又は市区町村の統計主管課へ提出してください。

## 5. 提出先

メールの場合 [toukeinohi@soumu.go.jp](mailto:toukeinohi@soumu.go.jp)

郵送の場合

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省政策統括官付統計企画管理官室地方統計機構担当 宛

## 6. 入選作品の決定・発表

- 入選作品は、部門ごとに佳作1作品程度、そのうち、特に優秀な作品として特選1作品を決定します。
- 入選作品は、令和6年6月(予定)に発表します。
- 入選された場合、ご本人(又は応募作品の取りまとめ部署等)にご連絡するとともに、総務省のホームページや広報誌等において、作品、氏名、所属・学校名(学年)、都道府県名を発表します。

## 7. 表彰

入選者には、表彰状及び副賞を授与します。

## 8. 著作権

入選作品の著作権は、総務省に帰属します。

## 9. お問い合わせ先

総務省政策統括官付統計企画管理官室地方統計機構担当  
電話 03-5273-1144(直通)

メール [toukeinohi@soumu.go.jp](mailto:toukeinohi@soumu.go.jp)

### (参考)

- 過去の特選作品  
令和5年度「統計は 未来を支える おくりもの」  
令和4年度「集まれば 大きな力に 統計調査」
- 過去の入選作品をご覧になりたい方又は応募用紙をダウンロードされたい方は、総務省ホームページの<「統計の日」標語募集について>をご覧ください。

URL: [https://www.soumu.go.jp/toukei\\_toukatsu/info/guide/06toukei\\_hyougo.html](https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/info/guide/06toukei_hyougo.html)



【令和5年度「統計の日」ポスター】  
※令和5年度の特選作品が活用されています。

## とうけい通信③

## 旭川の魅力はやっぱり「ご当地グルメ」！？

旭川市総務部総務課統計担当

## 1. 旭川市の紹介

旭川市は北海道の中央・上川地方のほぼ中央に位置し、雄大な大雪山連峰に抱かれ、石狩川と多くの支流が合流し、肥沃な盆地が広がっています。

旭川市シンボルキャラクター

**あさっぴー**

旭川市キャラクター

**ゆっきりん**

○人口 322,527人  
○世帯数 177,474世帯  
○面積 747.66km<sup>2</sup>  
(令和5年4月1日時点)  
出典：2023年度旭川市市勢要覧

古くからのアイヌの人々の営みと開拓の歴史によって、今日の旭川の基礎が築かれ、以来、交通の要衝・物流の集積地として発展し、現在は、北北海道の拠点都市として、医療福祉施設、教育・文化施設、公的機関などの都市機能が充実しています。

気候は年間の寒暖差、昼夜の寒暖差がともに大きく、四季が明瞭で冷涼な気候が特徴です。特に最低気温は、明治35年1月25日に氷点下41.0度を記録し、これは日本最低気温となっています。

- 最高気温 37.9度 (令和3年8月7日)  
○最低気温 -41.0度 (明治35年1月25日)

出典：旭川市HPより

地名の由来については、忠別川のアイヌ語で「チュプ・ベツ」を語源にしている説がよく知られています。「チュプ」は「日」、「ベツ」は川の意味で、「日」を「旭」に置き換えて「旭川」と意識して名付けたと言われていますが、諸説があり定かではありません。

## 2. 自慢の味

大雪山・旭岳を源流とする良質な水と肥沃な大地に恵まれた旭川は、米や野菜をはじめとする農業が発展し、自然の食料庫として発展してきました。

## ○旭川しょうゆホルメン

「旭川ラーメン」は、かつて養豚業が盛んだったことから豚骨スープと煮干しや昆布など魚介類を合わせたのが特徴であるWスープが主流となりました。また、養豚業はもう一つ、旭川独自の食文化を生み出しました。新鮮な豚の内臓が手に入りやすく、戦後食糧難の時代にそれまで捨てていたホルモンを塩味で食べるスタイルが庶民の間で広まっていき、旭川発祥の「塩ホルモン」は、女性を中心に全国的なブームを巻き起こしました。

ラーメンとホルモン。独自の道を歩んできた旭川の2大ソウルフードがコラボして「旭川しょうゆホルメン」が誕生しました。



## ○旭川しょうゆ焼そば

「旭川しょうゆ焼そば」は、全国各地で焼きそばによるまちおこしが盛んに行われていた当時、高い製麺技術、優れた食材に恵まれた旭川でも、焼きそばをラーメンや蕎麦に続く新たなご当地グルメとして売り出し、食を通じて地域を元気にしようと、旭川産米粉と道産小麦を配合した焼きそば用の米粉麺と、旭川で製造されたしょうゆをベースとしたしょうゆダレを開発しました。その後、地元の素材を使用した具材や味付けなど様々なバリエーションの地元へのこだわりを追求した旭川しょうゆ焼そばが誕生しました。

## ○あったか旭川まん

明治35年1月25日、旭川市で日本観測史上最低気温氷点下41.0度を記録しました。寒さ日本一である地域にとって、寒さは貴重な地域ブランドの一つです。同時に、寒さは温かい食べ物のおいしさを引き立てる要素です。

こうした背景から平成22年の冬、「あったか旭川まん」が誕生しました。あったか旭川まんは、生地に旭川産米粉を使い、各店個性を出した具材を包むことをルールとしております。また、氷点下41.0度を記録した1月25日は『あったか旭川まんの日』として、イベントを開催している冬期間限定のご当地グルメであります。

## 各ご当地グルメの通算出荷数

- 旭川しょうゆホルメン 162,059食  
○旭川しょうゆ焼そば 414,751食  
○あったか旭川まん 142,018個

提供：旭川しょうゆホルメン倶楽部、旭川しょうゆ焼そばの会事務局、あったか旭川まん推進協議会事務局

最近の数字

|           |         | 人 口              |      | 労 働・賃 金  |                  |                     | 産 業                    |                  | 家計(二人以上の世帯)    |                              | 物 価     |          |
|-----------|---------|------------------|------|----------|------------------|---------------------|------------------------|------------------|----------------|------------------------------|---------|----------|
|           |         | 総人口<br>(推計による人口) |      | 就業者数     | 完全失業率<br>(季節調整値) | 現金給与と総額<br>(規模5人以上) | 鉱工業<br>生産指数<br>(季節調整値) | サービス産業<br>の月間売上高 | 1世帯当たり<br>消費支出 | 1世帯当たり<br>可処分所得<br>(うち勤労者世帯) | 消費者物価指数 |          |
|           |         |                  |      |          |                  |                     |                        |                  |                |                              | 全国      | 東京都都区部   |
|           |         |                  |      | 千人(Pは万人) | 万人               | %                   | 円                      | 2020=100         | 兆円             | 円                            | 円       | 2020=100 |
| 実数        | 2023. 8 | 124439           | 6773 | 2.7      | 281,714          | 103.1               | 32.2                   | 293,161          | 449,278        | 105.9                        | 105.6   |          |
|           | 9       | P 12445          | 6787 | 2.6      | 277,700          | 103.6               | P 34.5                 | 282,969          | 398,754        | 106.2                        | 105.8   |          |
|           | 10      | P 12434          | 6771 | 2.5      | 279,232          | 104.9               | P 33.1                 | 301,974          | 463,445        | 107.1                        | 106.8   |          |
|           | 11      | P 12431          | 6780 | 2.5      | 289,905          | 104.0               | P 32.6                 | 286,922          | 403,699        | 106.9                        | 106.5   |          |
|           | 12      | P 12424          | 6754 | 2.4      | P 573,313        | P 105.9             | …                      | 329,518          | 908,391        | 106.8                        | 106.5   |          |
|           | 2024. 1 | P 12409          | …    | …        | …                | …                   | …                      | …                | …              | …                            | P 106.3 |          |
| 前年<br>同月比 | 2023. 8 | —                | 0.3  | % ポイント   | %                | %                   | %                      | %                | %              | %                            | %       |          |
|           | 9       | —                | 0.3  | * 0.0    | 0.8              | * -0.7              | 5.5                    | -2.5             | -5.4           | 3.2                          | 2.9     |          |
|           | 10      | —                | 0.3  | * -0.1   | 0.6              | * 0.5               | P 5.4                  | -2.8             | -4.7           | 3.0                          | 2.8     |          |
|           | 11      | —                | 0.2  | * -0.1   | 1.5              | * 1.3               | P 4.2                  | -2.5             | -5.1           | 3.3                          | 3.2     |          |
|           | 12      | —                | 0.8  | * 0.0    | 0.7              | * -0.9              | P 3.0                  | -2.9             | -4.2           | 2.8                          | 2.7     |          |
|           | 2024. 1 | —                | 0.6  | * -0.1   | P 1.0            | * P 1.8             | —                      | -2.5             | -7.4           | 2.6                          | 2.4     |          |

(注) P：速報値 \*：対前月  
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程（2024年2月～2024年3月）

《会議及び研修関係等》

| 時 期  | 概 要                                                         | 時 期   | 概 要                                                    |
|------|-------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------|
| 2月7日 | オンライン統計研修【第4回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「調査設計の基本」開講（～3月5日）       | 2月14日 | オンライン統計研修【第4回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計分析の基本」開講（～3月12日） |
| 〃    | オンライン統計研修【第4回】データ活用コース「政策評価と統計」開講（～3月5日）                    | 〃     | オンライン統計研修【第4回】データ活用コース「データサイエンス演習」開講（～3月12日）           |
| 〃    | オンライン統計研修【第4回】データ活用コース「ビッグデータ活用～基礎から応用まで～」開講（～3月5日）         | 〃     | オンライン統計研修【第4回】データ活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講（～3月12日）      |
| 〃    | オンライン統計研修【第4回】データ活用コース「データサイエンス入門」開講（～3月5日）                 | 〃     | オンライン統計研修【第4回】統計作成実務コース「産業連関表の作成・分析」開講（～3月12日）         |
| 9日   | 都道府県等統計主管課（部）長会議                                            | 19日   | 人口・経済統計コース「社会・人口統計の基本」開講【集合】（～20日）                     |
| 13日  | マイクロデータコース「マイクロデータ分析のためのプログラミング～統計解析ソフトRの利用方法～」開講【集合】（～15日） | 3月11日 | 統計データアナリスト研修（上級）「統計データアナリスト研修（第2回）」開講【ライブ配信】（～14日）     |
| 14日  | オンライン統計研修【第4回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講（～3月12日）           |       |                                                        |

《調査結果の公表関係》

| 時 期  | 概 要                                                                             | 時 期  | 概 要                                             |
|------|---------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------|
| 2月2日 | 小売物価統計調査(ガソリン)2024年1月分公表                                                        | 3月8日 | 消費動向指数(CTI)2024年1月分公表                           |
| 6日   | 家計調査(家計収支編：2023年12月分、10～12月期平均及び2023年平均)公表                                      | 〃    | 小売物価統計調査(ガソリン)2024年2月分公表                        |
| 〃    | 家計消費状況調査(支出関連項目：2023年12月分、10～12月期平均及び2023年平均 ICT関連項目：2023年10～12月期平均及び2023年平均)公表 | 21日  | 人口推計(2023年10月1日現在確定値及び2024年3月1日現在概算値)公表         |
| 〃    | 消費動向指数(CTI)2023年12月分、10～12月期平均及び2023年平均公表                                       | 22日  | 消費者物価指数(全国：2024年2月分)公表                          |
| 9日   | 労働力調査(詳細集計)2023年10～12月期平均及び2023年平均公表                                            | 〃    | 小売物価統計調査(全国：2024年2月分)公表                         |
| 20日  | 人口推計(2023年9月1日現在確定値及び2024年2月1日現在概算値)公表                                          | 26日  | 住民基本台帳人口移動報告(2024年2月分)公表                        |
| 〃    | 社会生活統計指標-都道府県の指標 - 2024刊行                                                       | 29日  | 労働力調査(基本集計)2024年2月分公表                           |
| 〃    | 統計でみる都道府県のすがた 2024刊行                                                            | 〃    | 消費者物価指数(東京都区部：2024年3月分(中旬速報値)及び2023年度平均(速報値))公表 |
| 27日  | 消費者物価指数(全国：2024年1月分)公表                                                          | 〃    | 小売物価統計調査(東京都区部：2024年3月分)公表                      |
| 〃    | 小売物価統計調査(全国：2024年1月分)公表                                                         | 〃    | サービス産業動向調査(2024年1月分速報及び2023年10月分確報)公表           |
| 〃    | 住民基本台帳人口移動報告(2024年1月分)公表                                                        | 下旬   | 統計百五十年史 刊行                                      |
| 29日  | サービス産業動向調査(2023年12月分及び10～12月期速報並びに2023年9月分及び7～9月期確報)公表                          | 月内   | 経済構造実態調査(2023年一次集計結果)公表                         |
| 3月1日 | 労働力調査(基本集計)2024年1月分公表                                                           |      |                                                 |
| 〃    | 2023年(令和5年)個人企業経済調査結果公表                                                         |      |                                                 |
| 〃    | 日本の統計 2024刊行                                                                    |      |                                                 |
| 〃    | 世界の統計 2024刊行                                                                    |      |                                                 |
| 5日   | 消費者物価指数(東京都区部：2024年2月分(中旬速報値))公表                                                |      |                                                 |
| 〃    | 小売物価統計調査(東京都区部：2024年2月分)公表                                                      |      |                                                 |
| 8日   | 家計調査(家計収支編：2024年1月分)公表                                                          |      |                                                 |
| 〃    | 家計消費状況調査(支出関連項目：2024年1月分)公表                                                     |      |                                                 |

編集発行



総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。